

平成18年度 全国中学校体育大会 第36回全国中学校バスケットボール大会

個人トータル表

決勝		平成18年8月20日 春野総合運動公園体育館		12:40 開始 M 3M3															
折尾 (福岡)		クォーター <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 5px;">12</td><td style="padding: 5px;">第1</td><td style="padding: 5px;">17</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">13</td><td style="padding: 5px;">第2</td><td style="padding: 5px;">14</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">11</td><td style="padding: 5px;">第3</td><td style="padding: 5px;">19</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">7</td><td style="padding: 5px;">第4</td><td style="padding: 5px;">20</td></tr> </table>		12	第1	17	13	第2	14	11	第3	19	7	第4	20	70		東京成徳 (東京)	
12	第1	17																	
13	第2	14																	
11	第3	19																	
7	第4	20																	
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則						
4	小田 彩乃	0	0	0	0	1	4	伊藤 由美子	0	0	0	0	0						
* 5	田中 里花	3	1	0	0	0	* 5	金子 美由紀	13	3	2	0	0						
6	上妻 朱奈	-	-	-	-	-	* 6	山本 千夏	11	0	4	3	0						
* 7	江藤 綾子	8	0	3	2	4	* 7	篠原 恵	25	0	10	5	3						
8	梅村 玲衣	0	0	0	0	1	* 8	鈴木 菜央	5	1	1	0	3						
9	末永 愛里	0	0	0	0	0	9	上野 沙也加	2	0	0	2	0						
10	津野 彩華	0	0	0	0	0	* 10	小島 つばさ	4	0	2	0	1						
* 11	神崎 由香	6	0	3	0	3	11	小山 結佳	6	0	2	2	0						
12	白根 栞里	2	0	1	0	1	12	山岸 優里絵	0	0	0	0	0						
13	栗原 捺美	0	0	0	0	0	13	板坂 彩夏	2	0	1	0	0						
14	脇岡 岬	3	1	0	0	0	14	伊沢 なつみ	0	0	0	0	0						
* 15	木末 有紀恵	16	0	7	2	3	15	吉田 奈々	0	0	0	0	0						
16	山村 優美子	0	0	0	0	0	16	岩田 真実	2	0	1	0	0						
17	濱砂 貴恵	2	0	1	0	0	17	相川 未来	0	0	0	0	0						
* 18	大和 未央	3	1	0	0	2	18	齋藤 奈々	-	-	-	-	-						
監督	吉田 麻里子	/	/	/	/	-	監督	遠香 周平	/	/	/	/	-						
合計		43	3	15	4	15	合計		70	4	23	12	7						
主審： 関口 久視 (新潟)						副審： 小島 浩二 (県バ)													

戦評	記載者	市原 則和	所属
<p>三連覇を目指す東京成徳と三年ぶりの優勝を目指す折尾との対戦。</p> <p>両チームマンツーマンDefでスタート。身長で上回る成徳は#7にボールを集める。東京成徳は#5のロング3Pでリズムを掴むと次々とシュートを決める。一方折尾は、高さが気になるのか単調な攻撃となる。東京成徳が17-6とリードしたとき折尾はタイムアウトを取り一呼吸入れると連続してシュートが決まり5点差まで追いつける。</p> <p>2Q、折尾は#15のリング下での粘り強いプレイなどで追撃する。東京成徳は、3点差まで追いつけられた時点でタイムアウトを取る。その後は一進一退の攻防が続く東京成徳6点リードで前半を終える。</p> <p>3Q、東京成徳は#11のファーストブレイク成功を機に#8の3Pなどで点差を広げる。折尾は、アウトサイドのシュートが決まらず苦しい展開が続く。</p> <p>4Q、東京成徳は多彩な攻撃で折尾を圧倒、#6のレイアップで60点目を上げると、余裕のあるゲーム運びで70-43で大会三連覇を達成した。</p>			